



宮城 政治・行政 原発事故・被災地

## <最終処分場>政府リーダーシップなしと批判

普段は笑顔が武器の知事が怒った。「子どもの言い訳じゃない」。宮城県内への指定廃棄物最終処分場建設をめぐり、現地調査の年内着手断念を伝えに宮城県庁を訪れた井上信治環境副大臣に、抗議した村井嘉浩知事は珍しく声を荒らげた。候補地3市町の首長や住民からは怒りや失望、候補地の返上を強く求める声が上がった。

「政治がリーダーシップを発揮しないから、こうなった。大臣が住民に頭を下げる初めて熱意が伝わるのに、望月義夫前環境相からは何の連絡もなく、今の丸川珠代環境相は福島に来たのに宮城には来ない」

村井知事は新旧大臣を名指して環境省の姿勢を痛烈に批判した。井上氏は、うなだれるしかなかった。

昨年8月の市町村長会議で村井知事が調査受け入れを表明して1年3ヶ月。環境省は昨年の今頃も、加美町の反対で調査に着手できず越年させた。

「雪解け後すぐにも着手したい」（望月氏）としながら、実際に動いたのは8月末になってから。10月には同町田代岳への調査入りを連日試みたが、タイムリミットまで間がないのは誰の目にも明白だった。

村井知事は、沖縄県の米軍普天間基地の移設問題をめぐる国の姿勢を引き合いに出し「沖縄で政府は頑張っている。政府が責任を持って住民の理解を得る努力をしなければ、こうした問題は解決しない」と井上氏に迫った。

会談後、報道各社の「沖縄のように強制的にでもやれという意味か」との問い合わせには「沖縄は全県民が反対でもやっているのに、宮城は住民が反対するからやらないでは、政府として矛盾しているということを突いた」といら立ちを見せた。

2年連続の越年に、調査の受け入れは認めてきた2候補地の首長も憤りをあらわにした。佐藤勇栗原市長は「環境省は指定廃棄物を抱える自治体の苦惱を分かっていない。市町村長会議で候補地を返上する」と表明し、息巻いた。浅野元・大和町長は「市町村長会議開催を働き掛ける」とのコメントを出した。

これに対し、調査受け入れ反対を貫く猪股洋文加美町長は「環境省は候補地を白紙撤回し、実現可能な解決策を探るべきだ。現在の分散保管が現実的だ」と従来の考え方を強調した。

田代岳の現場近くで環境省の調査入りを阻止してきた住民団体代表の高橋福継さん（73）は「他の場所を選ぶか、他の解決策を考えるか。時間をかけて話し合ってほしい」と要望した。

### 【宮城県内候補地の現地調査をめぐる主要動き】

- 4月5日 環境省が仙台市で開いた県民向けフォーラム。5月中旬にも調査実施の方針を提示
- 5月25日 建設反対の署名欄と3万円分の署名提出
- 29日 関係者が仙台市で第2回フォーラム開催
- 6月3日 加美町が候補地の田代岳に向かう町道の冬季通行止めを解除
- 7月1日 小山恭弘環境大臣（当時）が仙台の指定廃棄物一時保管場所を視察。「含浸処理の能力を吟味する」
- 28日 加美町は選出示（無投票）
- 8月21日 小山氏が加美町訪問
- 28日 環境省が3候補地で調査申請を検討する。31日も試みたが、住民の反対で見合わせ
- 9月11日 関係者が北寒河で町道の入り口から崩落
- 28日 葉原市長と大和町長が村井知事に市町村長会議開催を申し入れ
- 29日 大和町長選告示（10月4日投票期）
- 10月6日 環境省が選出示で選出の廃止入りを開始
- 7日 内閣改組
- 10~12日 井上信治環境副大臣が村井知事、3首長と会談。「地元の理解得るよう努力する」
- 13日 環境省が大崎市で第3回フォーラム開催
- 16日 環境省が選出示（25日投票期）
- 29日 環境省と加美町が有識者を交え意見交換会開催
- 11月14日 環境省有識者会議委員が田代岳を現地視察
- 19日 井上氏が村井知事に年内調査断念の意向を伝える
- 20日 加美町が町道を冬季通行止め

年内の調査着手断念を伝える井上環境副大臣

19日午後5時30分ごろ、宮城県庁

拡大写真

2015年11月20日撮影

## 沖縄担当相発言が波紋

島尻安伊子沖縄・北方担当相は15日の記者会見で、来年度の沖縄振興予算について、米軍普天間飛行場（沖縄県宜野湾市）移設問題で政府と対立する可能性を示唆した。島尻氏は移設反対の

普天間対立 予算影響も  
地元は「脅迫だ」

翁長雄志知事の姿勢が沖縄振興予算に影響するかを問われ、「全くないとは考えていない」と述べた。

基地と振興策の「取引」を想起させ、沖縄県民の感覚を逆なでするため、政府は公式にはこうした立場はとっていない。

【樋口淳也、佐藤敬二】

衆院沖縄2区選出の照屋寛徳衆院議員（社民）は15日、那覇市であった

出典：毎日新聞 平成27年12月16日

政府・沖縄の対立  
振興予算「影響も」  
島尻沖縄相

島尻沖縄相は15日の閣議後の記者会見で、沖縄県の米軍普天間飛行場（宜野湾市）の移設問題をめぐる政府と沖縄県の対立が沖縄振興予算に与える影響について、「影響が全くない」というものではないと、私自身が感じている」と述べた。政府と法廷闘争を繰り広げる翁長雄志知事をけん制する狙いがあるとみられる。

一方、菅官房長官は同日の記者会見で、政府と沖縄県の対立が予算に与える影響について、「ないと思う」と否定した。

出典：読売新聞 平成27年12月16日



# 就学支援金不正受給の流れ



